

鷺宮高校 社会科FW・活動通信 Vol.15(2024. 9 月)

社会科同好会編⑥ 民事裁判ジュニアツアー(東京地方裁判所で法廷見学)

9月11日(水)、文化祭の振替休日を利用して、生徒10名、教員3名で、東京地方裁判所(霞ヶ関駅 A1 出口から徒歩 1 分/桜田門駅5番出口から徒歩3分)で実施している「民事裁判ジュニアツアー」に参加しました。民事裁判の仕組みや傍聴する事件について説明を受けたあと、実際の法廷に入り、傍聴しました。自分たちが知っているテレビ局が番組内容について訴えられている、でも、テレビ局側の弁護士の弁論には説得力があるし…はたして真実は??? 裁判官の正面に位置する傍聴席で、法廷の厳粛な雰囲気緊張しました。



その後、説明用の法廷に移動し、質問タイム。ていねいに対応していただきました。黒い法服を着て法定内で写真撮影もおこない、よい記念になりました。(インターネット掲載不可)

以下、生徒の感想の一部を紹介します。

- ◆この間は初めて裁判を生で見てみて、民事裁判を主に聞いて話は難しいと思っていたけど、実際は分かるところは理解できて楽しめました。裁判官の位置や弁護士、書記の位置なども詳しく知ることができ法学部志望ではないけれど興味深く体験することが出来ました。
- ◆…平日でも一般の方が多く出入りし、裁判をタッチパネルで探している姿に驚きました。…裁判官の方は、物知りでとても面白い方でした。時間はとび実際の裁判へ。厳かな雰囲気に包まれていて、形式に乘っ取り裁判をしていました。何を言っているのかよく理解できなかったのも、より勉強したいと思います。
- ◆裁判傍聴という普段なかなか経験できないことで楽しかったです。内容は言葉が全て難しく理解するのに頭を使いましたが、それ以上にテレビだけでしか見られなかったあの風景が目の前にあると思うと感慨深く、アドレナリンが出て集中できました。
- ◆ゲームやドラマで見たことのある裁判所がそのままあって感動した。証人尋問を見られたのは貴重な体験になった。あの裁判の勝敗が気になる。
- ◆ドラマなどでよく見る場面が実際に行われていてとても見応えがありました。とても貴重な経験になりました。
- ◆裁判を実際に見て資料の量が多くてびっくりした。一ヶ月くらい期間はあると言っていたけど、一ヶ月かけてもあんなに集まらないと思う。それに弁護士の人がいろんなことを聞いているのを見て、圧がすごい怖そうだった。中に入ったら、こういう機会でしか知れないものがあるって面白いと思った。特に裁判官の座っている所は、普通のところと高さが違い、段差が大きくてびっくりした。裁判はその人の人生を大きく変えてしまうものだから、裁判員裁判で当たりたくないと思った。(←責任重大ですよ。高2か高3で裁判員制度について学習しますから、少しは不安がやわらぐかな…【教員より】)あんなにたくさんの事件で裁判をする裁判官や弁護士、検察官がすごいと思った。あんなテンションで裁判していたけど、食堂では普通の人で安心した。
- ◆まず、案内を務めて頂いた裁判官の方にどういう役職の方がどこに座るのか、などの基礎的な部分を教えて頂きました。最初に見た民事裁判では私でも知っているような名の知れた企業が相手になってとても驚きました。[中略]被告人の席に座ると位置関係からか、裁判官の威圧感を強く感じました。刑事裁判は被告人が警察に連れてこられるということもあり、民事裁判とは違う緊張感がありました。2つ目の刑事裁判では、被告人があまりに普通の人で、「普通に見える人でもこんな事件を起こすんだ」と思いました。正直、裁判自体は聞きなじみのない単語などが多く、資料を見て話しているため、よく分かりませんでした。刑事裁判には民事裁判と違い、傍聴ノートを取っている方も多く見られました。そういう方たちは一体何のために傍聴ノートを取っているのか、また、具体的にはどのようなことを書いているのか、普段は何をしているのか、なども機会があればお聞きしてみたいと思いました。